

校長室から

第28号

本校の開校はいつなのか？ ～その11～

ここまで、開校記念協賛会（1959年）『五十周年記念誌』からさかのぼって、本校の開校当時の歴史、エピソード、教育制度等について記述する中で、「本校は、上興部第一教育所として1908（明治41）年1月25日に開校し、5日後の同年2月1日に開校式を挙行了。」という筆者の見解を述べました。今一度整理してみます。

1908（明治41）年1月25日 上興部第一教育所を設置、代用教員発令。

1908（明治41）年2月1日 開校式を挙行、雄武外三村戸長代理福山秀氏参列。

「簡易教育規定」が1901（明治34）年改正され、尋常小学校が設置できない地域は、簡易教育所を設けて、尋常小学校に代えることができるとし、それまでであった私設の教場の多くが嘱託教育の認可を受け教育所となりました。更に、簡易な施設設備の教育所が道内各地にあらたに設置されていきました。この過程から、本校は後者のあらたに設置された教育所であり、戦後の文献に随所に見られる「設置認可」されたり「設立認可」されたものではないと考えられます。開校と同時に教員を発令しており、開校式には雄武外三村戸長代理が出席していることから、本校は設置された時点で教育所であったと考えるのが自然です。

1923（大正12）年7月 村上久吉校長が『学校沿革並現勢誌』を作成します。混乱の中で、誤って開校を明治42年と記入しました。

1934（昭和9）年10月29日開校25周年記念式典挙行。『學報』の原稿では「校長式辞」開校は明治42年1月25日、「柳田元吉村長祝辞」開校は明治42年1月25日。

1934（昭和9）年11月10日元当校々長現旭川中学校教諭村上久吉先生の作興講演会あり。この日には、政井三郎氏と村上久吉氏が直接会って話をしているはずですが、ここで、村上氏が沿革誌をさかのぼって作ったことについて、話題になったのかも知れません。

1935年（昭和10）年2月16日25周年記念「学校の歴史を語る座談会」が行われ、開校は明治四十一年が正当であることが実証されたので、政井氏が沿革誌を修正しました。

その直後、1935（昭和10）年9月30日西興部村役場村長柳田元吉『分村十周年記念西興部村誌』博文舎印刷所（以下『西興部村誌』）が発刊されます。

『西興部村誌』は、本稿では初出の文献です。原本は郷土館のショーケースに保存されており、本校にはコピーが1冊あります。

「コ、ニ住民ハ子弟訓育ノ不便ヲ痛感シ現六興橋及上興部に獨力設備ヲ備へ明治四十一年瀬戸牛（第一教育所）上興部（第二教育所）ノ兩地ニ興部校所属教育所ノ公立ヲ實現セシメタリ、之レ本村教育ノ嚆矢ナリ」（3ページ）

瀬戸牛尋常高等小学校

一、創立 明治四十一年一月二十五日

二、位置 字上興部原野九線一一四六ノ四

三、沿革

明治四一、一、二五 上興部第一教育所トシテ上興部原野六線（現六興附近）ニ設置雄武外三カ村戸長役場ニ属ス

明治四一、二、一、 開校式ヲ挙グ（30ページ）

『西興部村誌』は、政井氏が修正した『沿革誌』が根拠になって記述された、と考えるのが自然でしょう。

